

関西学院大学 研究成果報告

2020年11月30日

関西学院大学 学長殿

所属：経済学部

職名：教授

氏名：加藤雅俊

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input type="checkbox"/> 特別研究期間 <input checked="" type="checkbox"/> 自由研究期間 <input type="checkbox"/> 大学共同研究 <input type="checkbox"/> 個人特別研究費 <input type="checkbox"/> 博士研究員 ※国際共同研究交通費補助については別様式にて作成してください。
研究課題	スタートアップ企業のイノベーションと成長に関する実証研究
研究実施場所	関西学院大学（加藤雅俊研究室）
研究期間	2020年 4月 1日 ～ 2020年9月 19日（春学期）

◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

今回の自由研究期間において、主に、日本のスタートアップ企業を対象として、イノベーションと成長の要因と効果について分析してきた。

第一に、スタートアップ企業が特許化によって生存確率が高まるかどうかについての実証分析を行った。この研究は、帝国データバンクの企業レベルの長期パネルデータセットを使って、2003年から2010年に設立した製造業と情報サービス業の企業の生存（退出）要因として特許出願・特許がどのような役割を果たしたかについて分析している。本研究は、退出形態（倒産、自主廃業、被合併）ごとの生存要因を分析したところに特徴がある。また、特許化は戦略的意思決定であり、内生的に決定すると考えられるため、操作変数プロビットモデルを用いた分析を行った点も特徴と言える。本研究の結果は、スタートアップ企業が特許化することで倒産確率が有意に低下する傾向がある一方で、そのような企業は被合併によって退出する可能性が高まることを示している。この結果は、スタートアップの技術戦略としての特許化が、製品市場で競争する場合に競争優位を獲得につながることを示唆している。

本研究の成果は、Small Business Economics誌の特集号（Understanding Firms' Exit routes）に掲載されることが決定している。研究業績欄の1番が該当論文である。

第二に、スタートアップ企業の成長要因としてのCEO（最高経営責任者）交代の役割に注目した研究を行った。特に、インサイダーへの交代、アウトサイダーへの交代、ファミリーメンバーへの交代といったCEOの交代経緯に焦点を当て、これらの経緯によってCEO交代の影響が異なるのかどうかについて取り組んだ。分析アプローチとしては、CEO交代のセレクション問題に取り組むために傾向スコアマッチングという方法を用いて、CEO交代のあった企業となかった企業のマッチングサンプルを構築し、そのサンプルを用いて「差の差の分析」（difference-in-difference）を行った。分析結果によると、CEO交代は総じて成長を促進する傾向があることが分かった。また、インサイダーおよびアウトサイダーへの交代は成長を有意に増加させたことが明らかになった一方で、ファミリーメンバーへの交代は有意な効果は観察されなかった。この研究は2020年5月に本学経済学部のディスカッションペーパー（プレプリント）として発表している。また、同月に日本経済学会春季大会（オンライン開催）において学会報告（口頭発表）している。現在、この論文は投稿に向けて改訂中である。**研究業績欄の2番が該当論文である。**

第三に、企業のイノベーションに関する関連研究として、「商標（trademark）」が地域イノベーションの指標としてどれほど用いることができるのかについて実証的に分析した。商標は、サービスイノベーションの指標として重要な指標であることを明らかにしている。また、スタートアップ活動の指標と商標が正の関係があることが明らかになった。本研究はすでにRegional Studies誌の特集号（Geography of trademarks）から条件付き採択の通知を受けており、現在最終的な決定を待っている状態である。**研究業績欄の3番が該当論文である。**

【研究業績】

（査読付き論文）

1. Masatoshi Kato, Koichiro Onishi, and Yuji Honjo, "Does Patenting Always Help New-firm Survival? Understanding Heterogeneity among Exit Routes," *Small Business Economics*, forthcoming.

（その他の論文）

2. Masatoshi Kato & Yuji Honjo, 2020. "CEO Succession and New-Firm Performance: Does Successor Origin Matter?," Discussion Paper Series 213, School of Economics, Kwansai Gakuin University, May 2020.
3. Joern Block, Christian Fisch, Kenta Ikeuchi, Masatoshi Kato, "Trademarks as an Indicator of Regional Innovation: Evidence from Japanese Prefectures" submitted to *Regional Studies* (3rd round).

（学会報告）

- CEO succession and new-firm performance: Does CEO origin matter? 日本経済学会2020年度春季大会, 2020年5月31日（オンライン開催）.

以上

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

※個人特別研究費：研究費支給年度終了後2ヶ月以内 博士研究員：期間終了まで

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※特別研究期間、自由研究期間の報告は所属長、博士研究員は研究科委員長を経て提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。